

令和 7 年度 第 2 回上下水道事業審議会議事概要

開催日時

令和7年6月20日(金)午後7時～午後8時00分

開催場所

笛吹市役所市民窓口館3階302・303会議室

出席者

○上下水道事業審議会委員

三澤彰(公共的団体等を代表する者)、久保田一男(公共的団体等を代表する者)、萩原和宏(公共的団体等を代表する者)、渡辺浩和(公共的団体等を代表する者)、水野栄(公共的団体等を代表する者)、霜村守久(公共的団体等を代表する者)、武井達郎(公共的団体等を代表する者)、増田敦(公共的団体等を代表する者)、向山秀男(公共的団体等を代表する者)、古屋公士(公共的団体等を代表する者)、竹内稔(公共的団体等を代表する者)、伊藤真理(水道又は公共下水道の使用者)、堀内智恵子(水道又は公共下水道の使用者)、内藤運富(学識経験を有する者)、片田興(学識経験を有する者)

○事務局

佐藤みのり(公営企業部長)、森下浩通(水道課長)、赤松隆二(下水道課長)、市川利恵(企業総務課長)、窪田勇人(企業総務課総務担当リーダー)、久保健太(企業総務課総務担当)

○欠席者

丹澤光男(公共的団体等を代表する者)

次第(進行:窪田企業総務課総務担当リーダー)

1.開会

2.会長あいさつ

3. 議題

- (1)答申書(案)について
- (2)その他

4.閉会

3.議題(議長:会長)

(1) 答申書(案)について

《事務局・担当より資料に基づき説明 》

【質疑】

会長:それではただいまから 7 年度の第 2 回、通算して 4 回目になります審議会を始めたいと思います。

会長:本日答申書案については、事前にお配りされてますのでご一読されていると思いますので今日は、いきなりですけど、この答申書案についてご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局:先ほど言い忘れてしまいました、2 ページ目の要望事項というところの 3 番になりますが、「安定的な水の供給と汚水処理のため、アセットマネジメントおよびストックマネジメント」と書かれておりますが、多分初めて聞く言葉だと思ひまして、ご説明させていただきます。水道課長と下水道課長からご説明をさせていただきたいと思いますので、少しお時間ください。

事務局:水道ですけれども、アセットマネジメントという言葉簡単に説明させていただきます。

アセットマネジメントと言いますと、長期的な視野にたつて、計画的な資産管理を行い、更新の事業を的確に把握した上で、必要な財源を確保し、施設の計画的な更新を図る、という計画のことをアセットマネジメントと呼んでおります。

でもこの後、下水道課長の方から説明ありますが、このアセットマネジメントを、さらに細かくしたものがストックマネジメントという形になりますが、詳細については下水道課長の方からご説明申し上げます。

事務局:それでは下水道課の方からは、ストックマネジメントのご説明の方させていただきます。

下水道におきましては、まず管路更新等における計画ということで、総合的な計画であるアセットマネジメントに内包されます、ストックマネジメントの計画を策定して、管路更新等の事業の推進を行っております。ストックマネジメントは一体どういうものかと申し上げますと、まず既存の下水道施設いわゆるストックにつきまして、計画的かつ効率的に管理、マネジメントしていくという考え方によるものです。

下水道施設につきまして財源財政的な制約があり、そんな中、適切に管理していくためには、5 年程度の短期的な部分の改築計画ではなくて、もう少し長い中長期的な視点で、下水道事業全体の今後における老朽化の進展状況などを捉えて、その中でどれを先にやるべきなのか、どれをどういう順番でやるべきなのか、という優先順位をつけながら、施設の改築を進めることで事業費の削減をはかることができます。そのためには下水道施設全体のそういった施設状況を予測しながら維持管理や改築を一体的に捉えて、計画的、効率的に管理する必要があるために、そういった計画を策定して、それに基づき改築計画を進めていく、そういった内容になっております。

会長:はい、ありがとうございます。

いずれも長期的な視野に立つて計画的に事業を進めていこうという、大きな話だと思いますので、よろしいですか。

それでは、先ほど申しましたがこの答申書案につきまして何か、ここをこうの方がいいとかご意見ある方がありましたら、挙手にてご意見をよろしくお願いいたします。

委員：事前に送っていただいたので、一通り見させていただきましたが、自分なりに申し上げてよろしいでしょうか。

最初のページの②で、「20%引き上げとの意見が集約された」を、「意見に集約された」がいいと思う。次の3の「人口減少により」のところを、「人口減少等により」とかですね、3番の3行目あたりで「今後更に顕著となる」が、二段下がるとまた「今後も」と今後が二つ続いて出てくるので、私は最初を生かして後はいらない気がします。そしてこの「認識し、運営する」ということが出てきますが、「認識することが望まれる」でどうでしょう。2番目の度はいらないと僕も思いました。

3番目の「他の使用者から」はいらないのではないかと思います。「使用料の未納については不公平感がもたれるため」とかがいいのではないか。その次のページの「滞納が発生しないように努め、収納率を上げるための努力」については、その前の「滞納が発生しないように努め」と、ここに頑張ることが書いてあるんで、削ってもいいのかなというふうに思います。

先ほどの3番目の(アセットマネジメントやストックマネジメントといった)説明が必要な難しい言葉を入れた方がいいのか。「ストックマネジメント」が入る、ですから、最後の「この計画」はいらんじゃないかなと感じがいたします。

せっかく事前にいただいたので、自分が感じたところをメモしてきたんで述べさせていただきます。

会長：(今、委員の指摘のあった)1件ずつ皆さんで合意を図っていきたいと思いますので、答申書案の1ページ目の②のところで、最後のとこですね。「20%引き上げとの意見が集約された」ではなくて、「に集約された」というのが助詞の活用として好ましいだろうということで、これは「に」でよろしいですか。

よろしいですね。

次に「人口減少等により」とし、人口減少以外のこともここに含めるということでしょうか。

3行目からの文章で「今後」が2回繰り返されている部分ですが。

最初の「今後」を生かして二つ目の「今後」を取りますか。

はい。

三つ目の「今後」は、文章も違っているし、生かすというような形でよろしいですか。

真ん中の「今後」だけをとってあとは残すにしてください。

その次の行の「認識し、運営することが望まれる」を「認識することが望まれる」でどうかという話があります。

はい。

委員：「認識」だけだと何もやらないってとられるから。

会長：そうですね、ここは原文のままでいいですか。

はい。

事務局：蒸し返して申し訳ありませんが、先ほどの「今後」の部分です。

最初の「今後」は、その後に「予想されるため」と未来のことを語っているので、不要な

のかと思われます。その後の「基準外繰入が今後も」とあるんですが、「基準外繰入が改定後も必要であると推測される」にさせていただくと、より具体的なお話になると思われますがいかがでしょうか。

会長:そうですね、では、これでよろしいですね。

はい。

次に要望事項の 2 番、料金使用量の未納のところですが、あえて「他の使用者」と入れなくていいのではないかというご意見です。

これは取っていいですね。

それから 3 番目のところで、先ほど両課長からアセットマネジメントとストックマネジメントのお話がありましたが、我々は聞きなれない言葉でしたが、これを日本語に直すのもおかしいことでしょうし。基本的に市長さんは行政のトップですから承知してるってことだと思うんですけども。

はい。

事務局:アセットマネジメント、ストックマネジメントという横文字を使わずに「中長期的視野に立った資産管理を行い」と直させていただければ。

会長:では、日本語に置き換えて直すということでよろしいですか。

はい。

会長:私の案もいいですか。

議論した中でも、市民生活の影響にも配慮しようという議論がなされているので、そういった言葉もが入るのがいいのではないかと思います。

料金改定について諮問されてるので、今回の一番ではざっくり水道下水道簡易水道という言葉を使っているんですが、丁寧に「上水道事業、下水道事業および簡易水道事業の料金改定については」と、はっきり入れてあげて、「昨今の物価高騰による市民生活への影響に提供に配慮し、基本料金分および超過料金部分の上昇率を 20%に抑えるものとする」でどうでしょうか。

事務局:今のご意見をいただきましてちょっと事務局の方で検討させていただきました。

1 番のですけれども、諮問に関する回答ですので、「水道料金、下水道使用料、簡易水道料金について、基本料金および超過料金を 20%増の改定とする。」としていただくと、いかがでしょうか？

会長:気持ちとしては、やはりこの皆が、市民生活に配慮するっていうことも大事だということも入れてもらって、「市民生活の影響も配慮し、こういう回答にします」といった一言を入れてもらったらどうでしょう。実際には確かに昨今の、米の価格とか、生活はかなり大変ですから、水道料金をここで 20%上げるよっていうと、市民生活への影響大きいと思いますので、そこをやっぱり配慮して 20%にしたんだよ。だけど、それでもまだ全部クリアできてないんだって本当はそういう気持ちがあるんです。本当に赤字を消していこうとすれば 25%上げなければならないっていうのは、皆さ

ん承知しているけれども、そこまでは上げないよ、というふうに決まったんで。

委員:配慮って言葉がいいと思います。

市長に対して、世の中のそういう全体的なことを答申に入れるのは、こういった良いか悪いかという感情的なものもあるけれど、それは別の政策で取り上げてもらって、料金改定については原則にのっとってやるのが正しいと思います。ただね、やっぱり気持ちがある。そういったことです。

会長:それでは委員がおっしゃるように、「市民生活に配慮し」とすると少し踏み込んでしまうので、「昨今の物価高騰に鑑み」ぐらいなら丸く収まるのではないかなと思うんですけどね。

委員:1枚目の審議結果の②のところを読んでいただきたいですけど。

「今般新型コロナウイルスの感染症 5 類となる景気判断の持ち直しを示していることから、令和4年に行われなかった第2回目の改定を実施するべきであり、改定率については前回の答申時から保留されている20%引き上げとの意見に集約された」て書いてありますよね。ここでいろんな意見が出て、その結果、コロナ禍の中で伸びたものがやはりこの辺で20%にするべきではないかということが集約されたってここに入っているんで、これ以上の弁明を他のところに入れる必要があるでしょうか？

会長:審議結果の方に書いてあるので、集約のところまでには書かなくてもいいのではないかなという意見です。

(この話はここにしておいていいですね。との声)

会長:物価高騰の話も、③の方に「物価や人件費の高騰により」とあるので、あえて後ろの方に入れなくてもいいかもしれないですね。

委員:2枚目の意見集約についてですけど、「水道、下水道、簡易道については」て書いてあるんですけどそれ以外に何かあるんですかということなんですが。

会長:農業集落排水があるんです。よろしいですか。

そうすると、ここまでの議論をまとめますと、先ほど事務局が読んだ文章が好ましいんじゃないかと思いますが、もう1回読んでもらっていいですか。

事務局:はい。では、一番のところですけども、「水道料金、下水道使用料、簡易水道料金について、基本料金および超過料金を20%増の改定をする」となります。

会長:「下水道使用料および簡易水道料金」が厳密に言えばいいと思います。それではよろしいですか皆さん。

特に意見がないようですから今の形でいきたいと思います。

他にございますか。

委員:要望事項の一番のところで、3 年ごとに検討するってある。その辺、皆さん十分ご承知だと思うんですが、検討だから、上げるってこととはまた違うんですよ。

会長:そういった区切り区切りを審議会から行政の方に要望するっていうことは、大事ですよ。その都度ちゃんと 3 年ごとに見直してくださいよとか。それがさっきのアセットマネジメントにも繋がってくると思うんですよ。

他にご意見ないようでしたら、今日の検討はこれで終了したいと思います。

皆様がよろしければ、最終的に仕上がった文章をお送りして、書面決議のような形を取りたいと思っています。余程の変更点があれば、ご意見出してもらおうという形で(審議会を開催しますが)、審議会として集まるのはこれで最終にしたいと思いますが、どうでしょうか？

(お願いします。との声)

会長:はい。

皆さん毎回、本当に真剣な議論をいただきましてありがとうございます。特に、区長さん方は任期を超えて、やられてる方もかなりいらっしゃると思うんです。

それでは今夜打合せした答申書を、事務局から皆さんのところに郵送しますので、それについて書面の決議で、意思表示をするものが同封されますので、それを記入して返信をしていただきたいと思います。

では今日の議論はこれで集約をしたいと思います。

事務局の方お返しします。ありがとうございました。